

FMステレオトランスミッタキット

ステレオワイヤレスマイク機能付き 単3電池1本で50時間~100時間動作

★基板が新しくガラスエポキシ専用基板になり、作りやすくなりました。

★CDヘッドホン機などからのトランスミッタ用として、またステレオワイヤレスマイクとしてご使用できるように入力を2系統から選べるようになりました（コンデンサマイク2個付です）。

★RF出力にバッファFETを追加し、動作がより安定しました。

★ステレオ用パイロット信号（19kHz）はクリスタルを使用し、安定したステレオセパレーションでご使用いただけます。

■電源電圧 1.5V ■電源電流 約10mA ■周波数 76MHz~90MHz

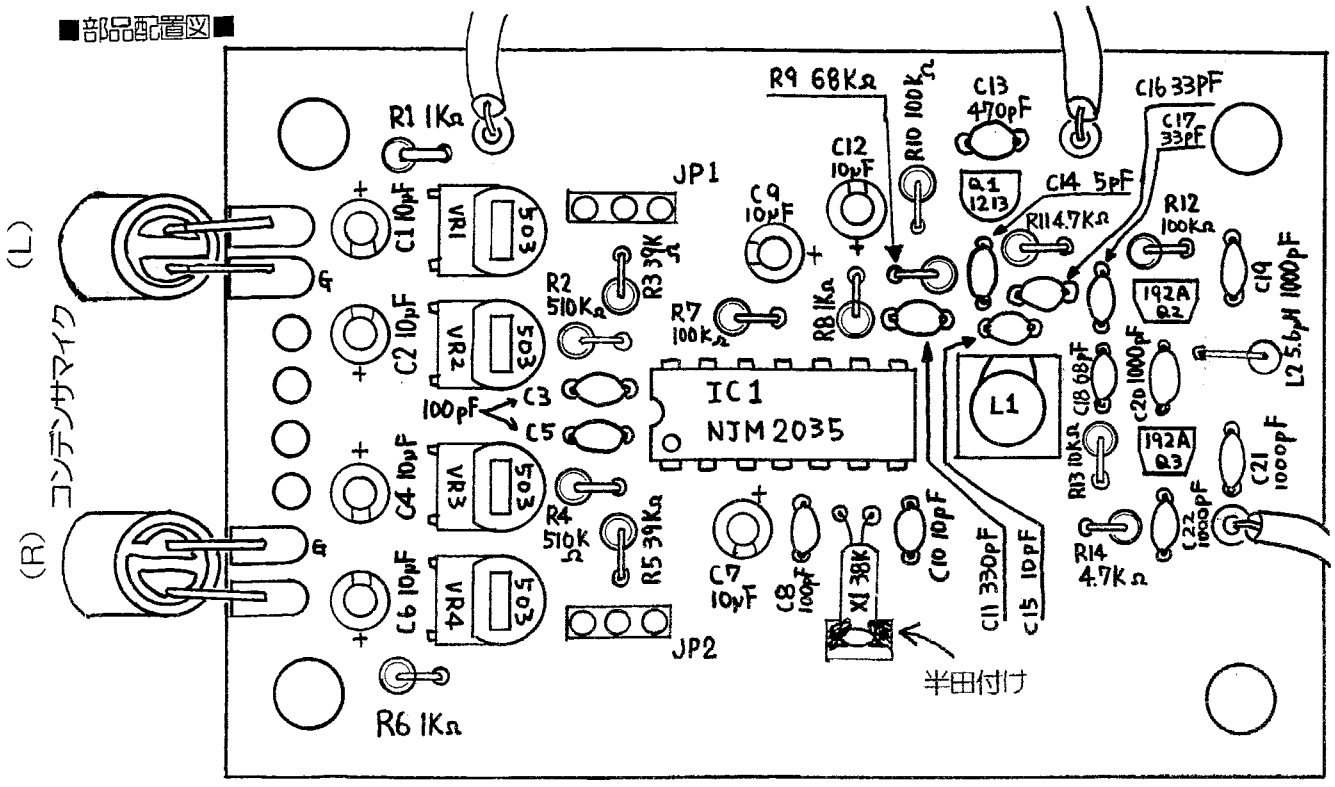
■部品表■

種類	型式名	番号	数	表示等
IC	NJM2035D	IC1	1	
トランジスタ	2SC1815L-Y-T92-K	Q1	1	C1815L、Yランク
FET	2SK192A	Q2,Q3	2	192A
抵抗	100Ω	(オプション)	1	茶黒茶金
	1kΩ	R1,R6,R8	3	茶黒赤金
	4.7kΩ	R11,R14	2	黄紫赤金
	10kΩ	R13	1	茶黒橙金
	39kΩ	R3,R5	2	橙白橙金
	68kΩ	R9	1	青灰橙金
	100kΩ	R7,R10,R12	3	茶黒黄金
	510kΩ	R2,R4	2	緑茶黄金
半固定抵抗	50kΩ	VR1,VR2,VR3,VR4	4	503
電解コンデンサ	10μF	C1,C2,C4,C6,C7, C9,C12	7	10μF16V 極性あり(長い方が+)
セラミック コンデンサ	5pF	C14	1	5
	10pF	C10,C15	2	10
	33pF	C16,C17	2	33
	68pF	C18	1	68
	100pF	C3,C5,C8	3	101
	330pF	C11	1	331
	470pF	C13	1	471
	1000pF	C19,C20,C21,C22	4	102
コイル	ボビン付コイル	L1	1	
	4.7μH	L2	1	黄紫金
クリスタル	38kHz	X1	1	金属筒 2本足
コンデンサマイク	Φ10	M1,M2	2	
基板	AE-STEREO-TX		1	
電池ボックス	単3×1本用		1	
ピンヘッダ	1×6	JP1,JP2	1	2本(1×3)に切って使用
ショートピン			2	JP1、JP2に使用

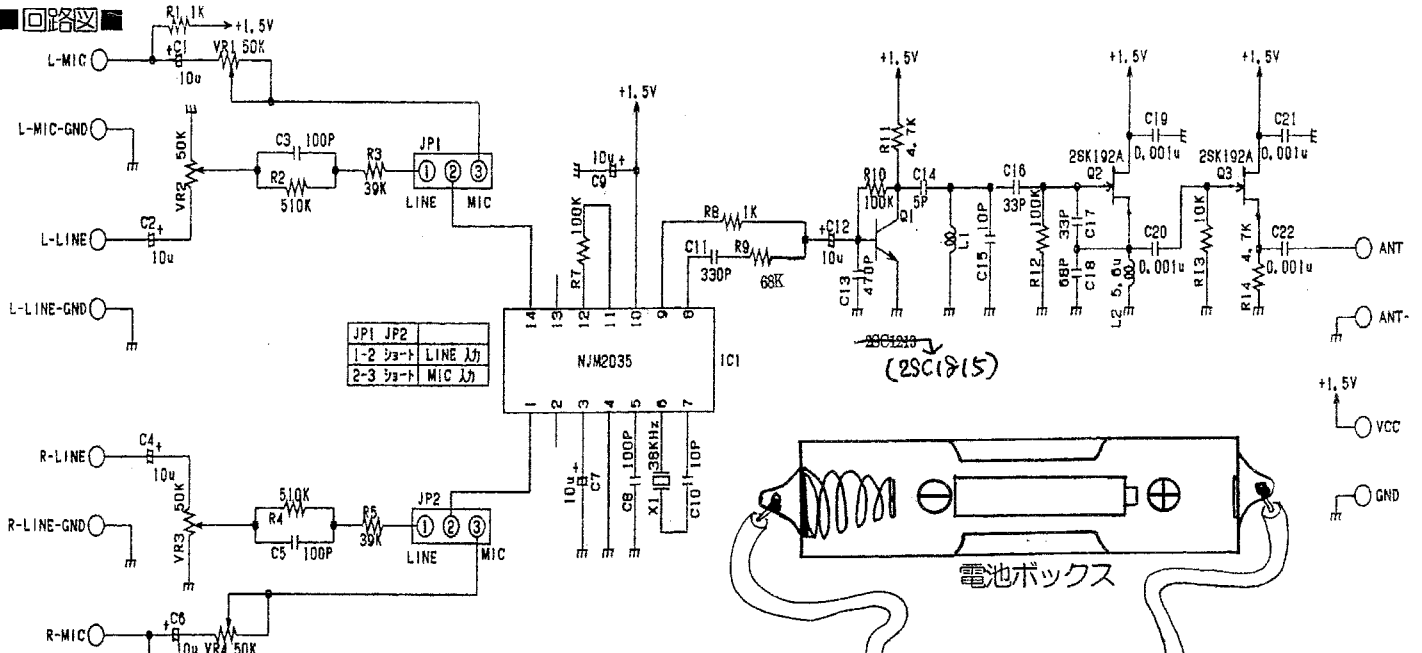
※その他、配線用、アンテナ線用にビニール線等をご用意ください。

※予告なく仕様や部品が変更になる場合があります。ご了承ください。

■部品配置図■



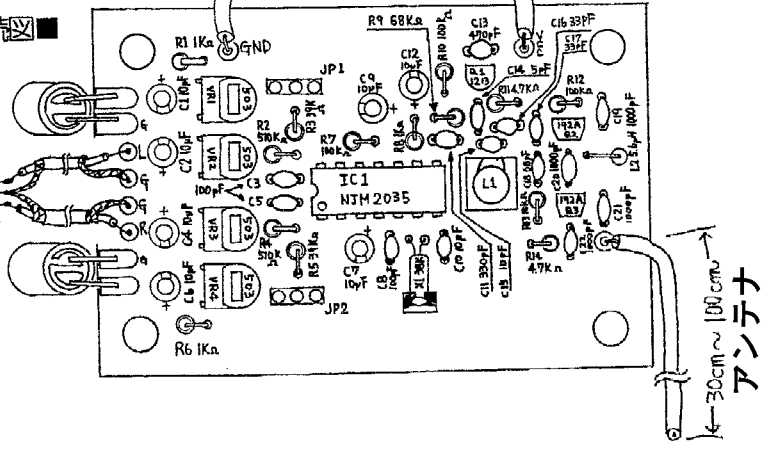
■回路図■



■接続図■

ピンプラグ接続列 →

(ピンプラグ、配線材はキットに
付属していません)



アンテナ
← 30cm ~ 100cm

NJM2035

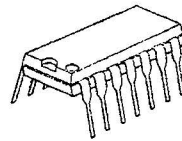
■概要

NJM 2035 はステレオコンポジット信号を作る為のICです。2つのオーディオ入力、38 kHz 水晶発振子と少数の外付CRによりスイッチングされた出力と 19 kHz パイロット信号が得られます。

NJM 2035 は低電圧低電流回路設計になっており乾電池の1.5Vを標準動作としますが1.2Vでも25dB以上のセパレーションが得られます。

乾電池仕様の送信部との組合せにより簡単にステレオマルチプレックス送信ができます。

■外形



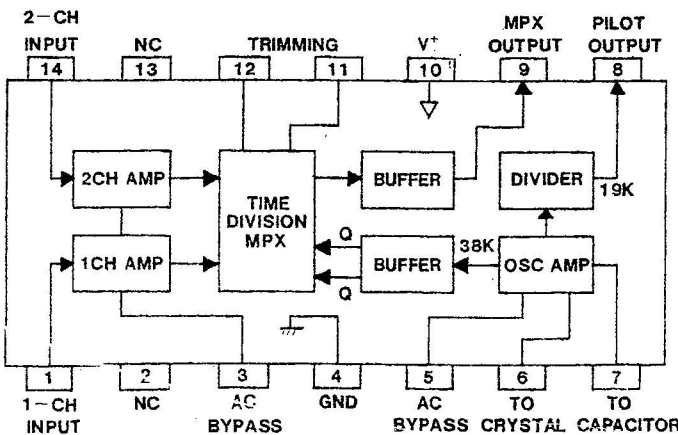
NJM2035D

■特徴

- 低電圧動作 ($V^+ \geq 1.0V$)
- 低消費電流 ($I_{CC} \leq 3.0mA$)
- ハイセパレーション ($SEP \geq 25dB$)
- セパレーション調整端子付

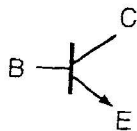
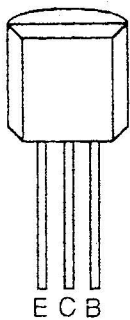
■絶対最大定格 ($T_a = 25^\circ C$)

項目	記号	定格	単位
消費電力	V^+	3.6	V
消費電力	P_D	(Dタイプ) 500 (Mタイプ) 300	mW
動作温度	T_{OPR}	-20 ~ +75	$^\circ C$
保存温度	T_{STB}	-40 ~ +125	$^\circ C$



■トランジスタ

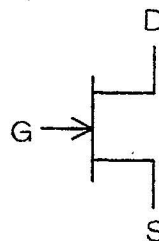
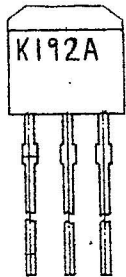
2SC1815



E C B

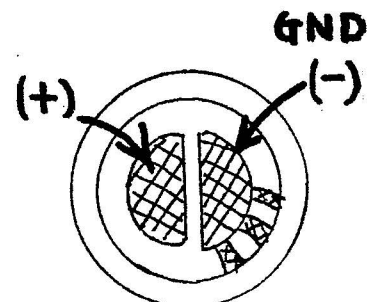
■FET

2SK192



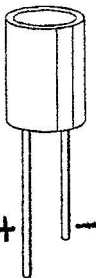
D S G

■コンデンサマイク



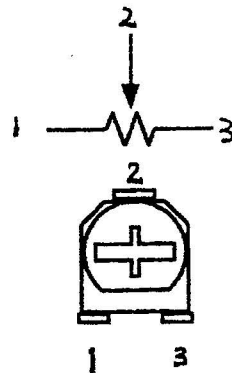
裏面

■電解コンデンサ

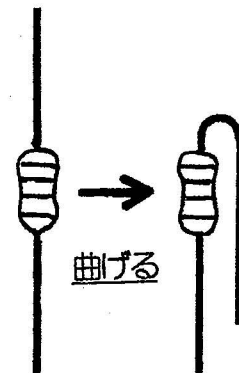


足の長い方がプラス (+)
短い方がマイナス (-)
胴体にマイナスの表示

■半固定ボリューム



■抵抗・コイル



■オプション■

ラジオで受信した音声がかひずんでしまうときは、下図を参考に付属の100Ωの抵抗を基板の裏面にハンダ付けしてみてください。

